

資料提供

令和5年12月12日

課名：経営革新課

担当者：渡邊

内線：3320

電話：082-513-3328

コロナ禍で経営課題の改善にチャレンジ 折箱部門売上はなんと**6.8倍に** 本県 **初の快挙** **日本一の経営指導員が誕生** 知事を表敬訪問

県では、本県産業を担う中小企業者等がデジタル技術の急激な進展に対応し、かつ、持続的に成長していくため、それぞれの経営課題に対応した実践を支援することで、本県産業の多様で均衡ある発展を目指しています。

こうした中、神辺町商工会の藤本貴史経営指導員が、70年以上福山市で折箱の企画・製造加工・販売や包装資材等販売業を営む企業（株式会社日野折箱店）の伴走支援において、販促の強化や生産管理体制のデジタル化（DX化）などによって、コロナ禍の最中でありながら、折箱製造販売部門の売上が包装資材部門の売上を上回るほどに成長し、**新たな事業の「柱」を生み出すことに成功**しました。

さらに、この取組は「経営支援事例発表全国大会」にて**日本一**となり、その報告のため、この度、知事を訪問することになりましたので、ぜひご取材ください。

1 訪問日時・場所

令和5年12月14日（木）15時30分～15時45分

場所：県庁北館2階 第一応接室

2 訪問者

神辺町商工会経営指導員

藤本貴史（ふじもと たかし）氏 他3名



3 大会内容等

別紙のとおり

なお、大会の詳細については、下記お問い合わせ先までお尋ねください。

（大会・受賞内容等のお問い合わせ）

広島県商工会連合会組織支援課

Tel：082-247-0221（担当：石橋、三上）



広島県商工会連合会

令和5年12月12日
 広島県商工会連合会
 広島県商工会職員協議会

令和5年度経営支援事例発表全国大会にて神辺町商工会藤本経営指導員
 (中国ブロック代表)が日本一に(最優秀賞受賞)

1. 趣旨

全国商工会職員協議会(東京都千代田区有楽町1-7-1)主催の令和5年度経営支援事例発表全国大会に神辺町商工会経営指導員の藤本貴史課長補佐が出席し、最優秀賞に輝きました。

これは広島県内の商工会としては初の快挙です。

<大会概要>

(1) 目的 全国から選抜された伴走型支援の好事例等を職員自らが発表し、商工会組織内での支援ノウハウ共有と支援能力向上に活用するとともに、商工会の支援力を組織外に強くPRする機会

(2) 開催日 令和5年12月7日(木) 13:30~18:05

(3) 開催場所 ANAクラウンプラザホテル松山(愛媛県松山市一番町3-2-1)

(4) 対象者 全国商工会の職員

※ 当日の発表者は47都道府県内で代表選考を行い、北海道から九州まで全国を8ブロックに分けて行われた各ブロック大会を勝ち上がった8名

【参考】全国の商工会数 1,643 全国の職員数 10,178名(令和4年4月1日現在)

2. 発表内容(自立型支援とアナログからデジタル化への取組支援)

藤本課長補佐の支援テーマは「コロナ禍でも新たな事業の柱をつくり躍進~各支援機関と連携して課題の見える化と解決~」と題して、福山市で70年以上事業を営む老舗の折箱店の主力の包装資材部門売上だけでなく、折箱製造販売部門を強化し、もう一つの事業の柱を生み出すまでの支援の過程をプレゼンしました。

当初、持続化補助金に挑戦したいという社長からの話を「補助金目的の事業計画ではなく、補助金に関係なく5年後の目指すべき事業計画を作成しましょう」と社長自らが事業計画を作成するスタイル(自立型支援)に導き事業者の自走を促しました。

また、課題を①集客、②受注、③製造、④出荷、⑤自社分析の5つに絞り、これらに対してHPの作成やプレスリリース等の販促強化や生産管理体制のデジタル化(DX化)を図るよう支援し、平成28年から令和5年までの8年間で売上が1.8倍、折箱部門売上も6.8倍となり、見事にもう一つの事業の柱を生み出すことに成功しました。

課題	課題の内容	支援の内容(解決方法)
①集客	自社の強みや特徴を発信できていない	HP制作、プレスリリース
②受注	問い合わせやFAXや電話(アナログ)	受発注システム導入(DX化)
③製造	製造工程・製品管理等がアナログ	生産管理システム導入(DX化)
④出荷	出荷商品を手書き(アナログ)発送	ハンディターミナルを活用した出荷システムの導入(DX化)
⑤自社分析	事業承継間もないため自社分析能力が弱い	広島県中小企業技術・経営力評価制度の活用

<お問い合わせ先>

広島県商工会連合会 組織支援課

Tel : 082-247-0221 (担当: 石橋、三上)